

第4回 BeLive プレゼンテーションイベント



開催日: 2024.2/3 (sat)

開催場所: さん太ホール
(岡山市北区柳町2丁目1-11)

主催: BeLive 実行委員会

共催: 一般社団法人岡山経済同友会

後援: 中国財務局 岡山財務事務所、中国四国地方環境事務所、岡山県、岡山県教育委員会、岡山県経済団体連絡協議会、一般社団法人 岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会、岡山県中小企業家同友会、国立大学法人岡山大学、大学コンソーシアム岡山、株式会社山陽新聞社、RSK 山陽放送株式会社、岡山放送株式会社、TSC テレビせとうち、RNC 西日本放送、KSB 瀬戸内海放送 (敬称略)

第4回BeLiveについて

「BeLive」は、^{ベールブ}高校生の持つ柔軟な発想と岡山に根差す企業・団体の力を掛け合わせた「SDGs」の取組・発表を通じ、岡山の新しい未来を創造するプロジェクトです。

私ども BeLive 実行委員会は、地域の持続可能な社会の実現を目指し、県内の高校生による「SDGs」への取組を応援します。行政や企業関係者等の前で発表する機会を提供することを通じて、高校生と行政、企業の連携を深め、地域の「SDGs」活動をより活性化させ、その取組を通じて地元への愛着や関心を高め、企業情報を知ることによって県内就職を考える一助になると同時に、高校生の自由で柔軟な発想に触れることで企業にとっても新たな視点を獲得する機会となることを期待します。

今年度の「第4回 BeLive」では、“高校生×企業”をテーマとして掲げ、複数回のイベントの開催を通じて、高校生と企業が関わりあう機会を創出してまいりました。その取組の集大成として、高校生による SDGs の取組を発表・表彰する「第4回 BeLive」プレゼンテーションイベントを開催いたします。

実行委員紹介

実行委員長	梶谷 俊介	(一般社団法人岡山経済同友会 代表幹事)
実行委員会事務局長	廣野 景治	(株式会社 i プランニングKOHWA 代表取締役社長)
実行委員	狩野 光伸	(国立大学法人岡山大学 副理事 SDGs・ダイバーシティ&インクルージョン担当)
	藤木 茂彦	(一般社団法人岡山経済同友会 特命理事)
	服部 俊也	(一般社団法人岡山経済同友会 SDGs推進委員会 委員長)
	室 貴由輝	(岡山県教育庁 高校教育課 高校魅力化推進室 室長)
	岡山 一郎	(株式会社山陽新聞社 論説委員会 論説主幹)
	武田 憲和	(株式会社中国銀行 地方創生SDGs推進部 次長)
	山本 晶子	(株式会社中国銀行 地方創生SDGs推進部 次長)
	杉山 有也美	(株式会社中国銀行 地方創生SDGs推進部)
	未 来	(株式会社オーリス)
	川崎 好美	(岡山県総合教育センター 指導主事)
	横山 はるな	(就実大学 人文科学部実践英語学科)
	甲斐 明日香	(服部興業株式会社 総務部 主任)
	金谷 彩	(岡山トヨタ自動車株式会社 営業統括室 教育・店舗企画グループ)
	坂越 生章	(株式会社 i プランニング KOHWA 活性化推進室 室長)

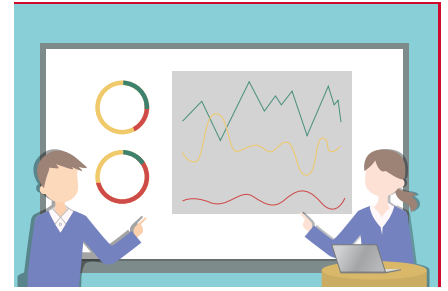
審査員紹介

審査員長	中島 義雄 氏	(一般社団法人岡山経済同友会 代表幹事/帝人ナカシマメディカル株式会社 取締役会長)
審査員	上山 隆浩 氏	(西粟倉村 地方創生特任参事)
	影山 美幸 氏	(株式会社山陽新聞社 論説委員)
	馬場 拓郎 氏	(株式会社ありがとうファーム 取締役副社長)
	森山 莉紗 氏	(独立行政法人国際協力機構 JICA中国センター 総務課 民間連携班)
	森分 志學 氏	(特定非営利活動法人だっぴ 代表理事)
	山口 陵子 氏	(株式会社ウイル 代表取締役)
	山下 陽子 氏	(公益財団法人有隣会 語らい座大原本邸 館長)
	吉川 幸 氏	(国立大学法人岡山大学 岡山大学教育推進機構 准教授)

(五十音順)

第4回 BeLive

プレゼンテーションイベント



審査基準

「理念」「持続性」「主体性」「参画力」「統合性」「発信力」「アイデア」の7つの項目を5段階で評価します。尚、同点のチームがある場合は、審査員の総合的な意見を基に決定いたします。

理 念	誰一人取り残さない、の理念で取り組んでいるか
持 続 性	岡山県の発展のために継続して、実施または実用が可能なものか
主 体 性	生徒たちが主体となり行動的に取り組んでいるか
参 画 力	企業との協働やステークホルダーを巻き込んでいるか
統 合 性	経済・社会・環境における課題解決に取り組んでいるか
発 信 力	チームの取組を外部に発信しているか
アイデア	創造性、革新性など、わくわく感や夢のある取り組みになっているか

参加校紹介



白石踊800年の伝統を受け継ぐ活動

1. 倉敷翠松高等学校

白石踊800年の伝統を受け継ぐ会

白石踊を守るために活動している白石踊会の方々の気持ちを尊重し、私達にできる継承活動、広報活動、行事への参加などを行っている。活動をする上で、自らが踊りを踊れることは必須であるため練習を繰り返したが、踊りの種類が13種類もあり、それぞれが独特の動きであるため、踊りを覚えることが思ったよりも大変であった。



～誰もが住みやすい国づくり～ To make this country more wonderful

2. 岡山県立総社南高等学校

総社南国際系

私たちは社会貢献活動を通じて、総社市には多くの外国人労働者が暮らしていることを知り、何かお手伝いがしたいと考えました。最初は簡単に考えていましたが、困っていることを調べることで体が難しく、解決は個別の事情を考えるものだと気づきました。しかし、文化の違う海外の方を受け入れることが、自分たちが海外でも受け入れてもらえるための第一歩だと思い、自分たちに何が出来るか取り組みました。



循環型社会を実現するために～服の3Rについての探究を通じて私たちが考えたこと～

3. 岡山県立玉野光南高等学校

玉野光南S活メンバーズ

私たちは資源の中でも生活に身近な「服」に視点をおき、約30人の有志の集まりで活動を始めました。活動をしていく中で、高校生が活動できる範囲や手段の限界を実感しました。そこで周りの人たちを巻き込むため、校内外への広報や活動報告を大切に、近隣の小中学校や企業、地域の方々にも協力していただき、少しずつ活動の範囲を広げていくことができました。



奉還町活性化プロジェクト

4. 岡山県立岡山工業高等学校

建築科 地域連携班

お互いの長所短所を理解し合うことを大切に。短期的な取り組みとしてではなく、長期的な取り組みとして考えることを意識した。プロジェクトを進めていく際に学校外の人と連絡を取るのに苦労した。進学や就職でそれぞれが作業に参加できない時期があったができる人たちでできない人の分までカバーしあうことを大切にして取り組んできた。学校行事やテストと両立をするのがとても大変だった。



寄島の課題魚「クロダイ」を活用した地域活性・食文化復活プラン

5. おかやま山陽高等学校

進学コース 地域課題探究班

地元地域の課題解決をどのようにしてビジネスとして成り立たせるかが一番苦労した点である。私たちはこのプラン作成にあたって、地元の笠岡信用組合様に収支計算について相談した。そして事業で初期投資に必要な費目や金額を割り出し、資金をどのように工面するかを模索した。



「市民は解決者」瀬戸内海の海洋ごみ問題をシビック・テックで解決プロジェクト

6. 山陽学園中学校・高等学校

地歴部

私たちは海洋ごみ問題の解決に向けて回収と啓発活動に取り組んできたが、日時・場所・参加者数・参加者意識が限定され、熱意ある市民のリピーターが多く、効果に広がりがないと課題認識を持った。そこで、あらゆる市民を巻き込む仕掛けとして「誰でも」「いつでも」「遣り甲斐」をテーマにしてシビック・テックを活用したアプリを作成して、市民に参加してもらい、その収集データを解決へ活用する実践に取り組んだ。



「不登校」について考えてみた・・・

7. 岡山県立烏城高等学校

team おこた

不登校生徒の増加が深刻な問題となっているので、不登校経験者である私たちが色々と調査し、当事者の目線から考えていくことで問題解決の糸口を探ろうと考えた。しかし、調べれば調べるほど複雑な問題で、一人ひとり背景が違ったり、複合的な要因であったり、簡単ではないことが分かった。今回は、不登校生徒が一番不安に感じている「学習面の遅れ」の解消につながる施設を取材したので、その内容を紹介する。



学校設定科目「C P (Community building Project)」を通したSDGs活動

8. 岡山県立勝山高等学校蒜山校地

私達は、高校2年生になってから始まったCPⅡという授業で、SDGsの活動に本格的にかかわるようになりました。私は今、「僕らの仮想モノガタリ」というプロジェクトで、8番目の目標「住み続けられるような街作りを」に貢献しようと思っています。具体的には、蒜山のマップづくりや、「大宮あをい」というV-tuberを使って、蒜山へのファンや定住してくれる人を増やそうとしています。



つやま城下ハイスクール

9. 株式会社和田デザイン事務所

つやま城下ハイスクール

高校卒業をきっかけとして地域外に若者が流出してしまう「18歳の崖」が、私たちの暮らす津山市の未来に繋がる課題です。まちの未来のために、私たちにできることは何か。津山市内の異なる高校に在籍する私たちが一丸となって発意し、育ったまちや魅力的な大人たちを知り、まちを舞台にみんなと未来を考えてアクションを起こす。そして高校を卒業しても、まちに関わり続けられる繋がりをつくることを大切に活動しています。



日本資本主義の父‘渋沢栄一’の思想に迫る 道徳経済合一ツアー

10. 岡山県立矢掛高等学校、就美高等学校

井原&備前の魅力発掘委員会

私達が実施するツアーでは、ご参加いただいた方に「社会貢献と経済成長を両立させ、社会全体が豊かにかつ幸せになる生き方を目指す」という価値観を提供することを大切にしている。3年間継続して、当実践に取り組む中で出会った経営者や起業を目指す方々から多くのアドバイスをいただき、ブラッシュアップやトライアルツアーを重ねてきた。そして、「岡山だからこそ、岡山でしか味わえない体験」を考え抜いた。



TPOに応じた着こなしや身だしなみを考え、適切な振る舞い方を知るためのフリースの取り組み

11. 岡山県立岡山御津高等学校

岡山御津高校 校則検討委員会

フリースと聞くと、自由や優先順位の崩壊などネガティブな側面がまず思い浮かぶが、そうならないように高校全体の意見を集約し、「これでいいのかわ」と常に問いながら、ベターな着地点を求めていくことを大切にしたい。苦労したことは、アンケート結果をどう次につなげていくのかということ。いろいろな意見があるからこそ、真剣にみんなが考えてくれたからこそ、何をすべきなのかを考えるのが難しかった。



車いす利用者にも住みやすい街とは・・・

12. 岡山県立烏城高等学校

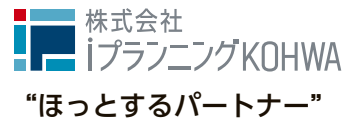
toilet girls (トイレット ガールズ)

車いす利用者と普段の生活であまり出会わないことを疑問に感じ、実際に車いすで街中を走行してみても多くの障害があることに気が付いた。そこで、車いすを普段から利用されている方に話を伺い、どのような問題に困っているのか、また私たちにはどんな協力ができるのかなど、車いす利用者にも住みやすい街について考えてみた。

協賛企業紹介
(敬称略・五十音順)



あなたと、わたしで。
岡山トヨタ



ご協賛いただき



KSB瀬戸内海放送

高校生と見つける
私たちのSDGs



一般社団法人 岡山経済同友会



第4回BeLiveキックオフミーティング



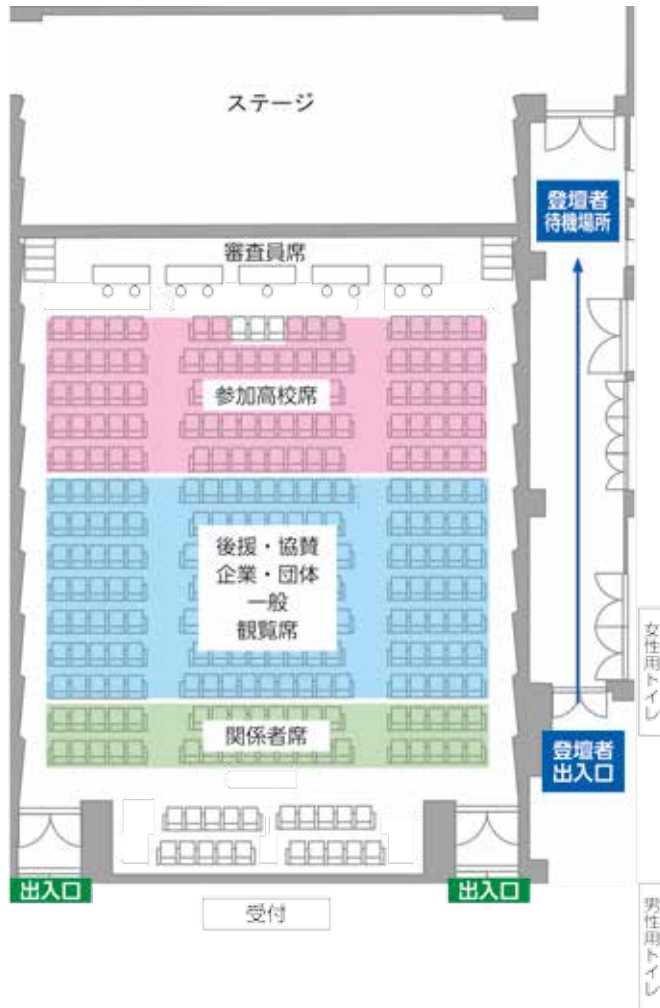
第4回BeLive"高校生×企業"探究活動サポート交流イベント



第4回BeLive探究活動ブラッシュアップイベント

ありがとうございます。

会場図



タイムスケジュール

10:00~10:30 受付

10:30~ 開会

審査員紹介/協賛・後援紹介

開会挨拶 BeLive実行委員長 梶谷 俊介 氏

11:00~ プレゼンテーション

1. 倉敷翠松高等学校/白石踊800年の伝統を受け継ぐ会
2. 岡山県立総社南高等学校/総社南国国際系
3. 岡山県立玉野光南高等学校/玉野光南S活メンバーズ
4. 岡山県立岡山工業高等学校/建築科 地域連携班
5. おかやま山陽高等学校/進学コース 地域課題探究班
6. 山陽学園中学校・高等学校/地歴部

12:10~13:25 食事休憩 (75分)

13:30~ プレゼンテーション

7. 岡山県立烏城高等学校/team おこた
8. 岡山県立勝山高等学校蒜山校地
9. 株式会社和田デザイン事務所/つやま城下ハイスクール
10. 岡山県立矢掛高等学校、就実高等学校/井原&備前の魅力発掘委員会
11. 岡山県立岡山御津高等学校/岡山御津高校 校則検討委員会
12. 岡山県立烏城高等学校/toilet girls (トイレット ガールズ)

14:40~14:55 休憩・アンケート記入 (15分)

14:55~15:35 トークセッション (40分)

15:35~審査結果発表

審査結果発表

審査員長メッセージ 中島 義雄 氏

16:00~16:10 メッセージ・閉会

BeLive実行委員 室 貴由輝 氏

16:10~16:50 フリー (記念撮影/交流)

参加者アンケート・投票

本日はご参加ありがとうございました。今後のイベント運営の参考にさせていただきたいと思いますので、お手数ではございますが、該当のQRコードよりアンケートにご協力ください。また、ご観覧いただきましたチームの中で、一番素晴らしいと思ったチームにご投票ください。

参加者アンケート



高校生・引率教員様は
こちらから



発表参加チーム以外の
皆様はこちらから

オーディエンス投票

